

1) be filled with 「～でいっぱいである」 wonder 「驚き」 2) be interested in 「～に興味がある」 3) be excited about[at] 「～にわくわくする」 4) that (省略されている) 以下が SVOC の受動態。補語の president はそのまま残す。5) 「～のために開催される」と考えて、前置詞には for を使う。

4 【解答】

- 1) was sent to, by[from]
- 2) is covered with
- 3) was baked for me

【問題文訳】

- 1) a) 友人が私に美しい花束を送ってくれた。
b) 美しい花束が友人から私に送られた。
- 2) a) 落ち葉が地面を覆っている。
b) 地面が落ち葉で覆われている。
- 3) a) 兄は私にアップルパイを焼いてくれた。
b) アップルパイが兄によって私のために焼かれた。

【ワンポイント解説】

1) SVOC の受動態。send は give 型の動詞なので、物を主語にした文では 〈to + 人〉 を使う。a bunch of flower 「花束」 2) be covered with 「～に覆われている」 3) 「私のために焼かれた」と考えて、me の前には for を使う。

5 【解答】

- 1) This kitten is called Mike by the neighbors.(is を補う)
- 2) When and where were you born (?) (were を補う)
- 3) A new dress will not be made for her (this year.) (be を補う)
- 4) The new computer game is selling very well (.) (selling を補う)

【ワンポイント解説】

1) SVOC の受動態。「近所の人」 neighbor 2) 疑問副詞のある受動態。3) SVOC の受動態。make は buy 型なので、物を主語にした文では 〈for + 人〉 を使う。4) 日本語で「よく売れる」は、英語では sell well。英語では受動態の形をとっていないのに日本語では受動的な意味を表すものがある。

English Composition

- 1) The truth should[ought to] be told to us.
- 2) Nancy and Sam were injured in the accident.
- 3) Maki seemed to be quite satisfied with[at / about] her new job.
- 4) Taro was asked many questions about Japan

by the children.

【ワンポイント解説】

1) 〈should[ought to] + be + 過去分詞〉の形。2) 「～でけがをする」は be injured in。3) 「～に満足している」be satisfied with 「～のようだった」は seem to で表す。4) SVOC の受動態で人が主語になっている形。

Try! ★★

【解答】④

【ワンポイント解説】

「私は学校へ行く途中で大雨にあった」be caught in 「(にわか雨など) にあう」

Training 2 助動詞・受動態

1 【解答】

- 1) were able to 2) couldn't, had to
- 3) ought not to 4) used to
- 5) should have bought 6) was built

【ワンポイント解説】

1) was[were] able to は過去に実際やってみてできたことを表す。vacant 「空いている」 2) 「～しなければならなかった」は had to。3) ought not to 「～すべきでない」tell a lie 「うそをつく」 4) 過去の状態を表す used to。grow 「(髪やつめを) 伸ばす」 5) 〈should + have + 過去分詞〉「～すべきだったのに(しなかった)」 6) 過去時制の受動態。

2 【解答】

- 1) were caught 2) has been arranged
- 3) will not be translated
- 4) were brought up by

【問題文訳】

- 1) a) 子どもたちはほとんどのヒヨコを、それらが逃げ出す前に捕まえた。
b) ほとんどのヒヨコが、逃げ出す前に子どもたちに捕まった。
- 2) a) 彼らは来年の9月に会議を設定した。
b) 会議が来年の9月に設定された。
- 3) a) 出版社はその本を日本語に翻訳しないだろう。
b) その本は出版社によって日本語に翻訳されることはないだろう。
- 4) a) その女性は3人の男の子を育てた。
b) 3人の男の子が、その女性に育てられた。

【ワンポイント解説】

1) 主語が複数形、時制は過去なので 〈were + 過

去分詞〉の形。動作主は by を使って表す。2) 完了形の受動態。3) 〈will + be + 過去分詞〉の形。translate 「～を翻訳する」 4) 群動詞 (bring up 「～を育てる」) の受動態。受動態にするときは、群動詞を一つのかたまりとして扱う。

3 【解答】

- 1) ③ 2) ④ 3) ④ 4) ① 5) ②

【問題文訳】

- 1) アンはもっと若かった頃、よく孫娘たちを訪ねたものだ。
- 2) この物語はほとんどの若者に知られていない。
- 3) コーチは試合の結果に興味していた。
- 4) 私たちは週末にかけて宿題をしなくてよかったので、うれしかった。
- 5) 雨が降りそうだ。傘を持って行ったほうがいい。

【ワンポイント解説】

1) 過去の習慣を表す would。2) be known to 「～に知られている」 3) be excited at 「～に興奮する」 4) don't have to 「～しなくてよい」の過去形。5) 「～するほうがいい」 had better

4 【解答】

- 1) Could you
これらのイスを食堂へ運ぶのを手伝っていただけますか。
- 2) shall we
パーティー用の食材を全部どこで手に入れましょうか。
- 3) should have
あなたは始める前に取扱説明書を読むべきだったのに。
- 4) must be
この植物は日の当たる場所に置いておかなければならない。
- 5) used to
その村には以前は、たくさんの古い家があった。

【ワンポイント解説】

1) ていねいな依頼の表現 Could you ~? 2) 「～しましょうか」申し出・勧誘を表す Shall we ~? 3) 〈should + have + 過去分詞〉「～すべきだったのに(しなかった)」 4) 「～しなければならぬ」の must を使った受動態。〈must be + 過去分詞〉の形。5) 過去の状態を表す used to。

5 【解答】

- 1) (We) might have made a mistake while we were (calculating the numbers.)

- 2) The journalist was given a prize (.)
- 3) Do we really have to use (so much pepper?)
- 4) She was chosen leader of the group (.)
- 5) (We) won't be able to see the Milky Way (tonight.)

【ワンポイント解説】

1) 〈may/might + have + 過去分詞〉「～だったかもしれない」 make a mistake 「間違いをする」 calculate 「～を計算する」 2) SVOC の文の O (人) を主語にした受動態。3) have to 「～しなければならない」を使った疑問文。pepper 「コショウ」 4) SVOC の文の O を主語にした受動態。5) won't be able to 「～できないだろう」 the Milky Way 「天の川」

6 【解答】

- 1) This picture was painted[drawn] by my mother.
- 2) You didn't[did not] have to worry about him.
- 3) They may[might/could] have missed the train.
- 4) My father must be waiting for me at the wrong place.

【ワンポイント解説】

1) 「私の母によって」と考えて、〈be 動詞 + 過去分詞 + by + 動作主〉の形にする。2) don't have to の過去形を使った文。「～を心配する」は worry about ~。3) 過去の推量を表す助動詞 〈may/might/could + have + 過去分詞〉「～だったかもしれない」で表す。4) must を用いた現在進行形。「～しているに違いない」

Lesson 13 不定詞 (1)

1 【解答】

- 1) ②私にとって必要なのは少し眠ることだけだ。
- 2) ③ステーキは両親をあまり心配させたくなかった。
- 3) ①この川で泳ぐのは危険すぎる。
- 4) ①この公園内でピクニックをしてもかまいませんか。
- 5) ③私たちは、試合を見るのはとてもわくわくすることだとわかった。

【ワンポイント解説】

不定詞の名詞用法 「～すること」。(to + 動詞の原形) は主語、補語、目的語になることができる。

- 1) 補語。get a sleep 「眠る」 2) want の目的語 3) 主語。4) 形式主語の it を使った文。不定詞以下が真の主語。5) 形式目的語の it を使った文。不